

# 振り返り会議

～みんなで決めよう！これからの市民協働～

---

令和7年2月24日（月祝）

10:00～12:00

## イベント企画決定会議 タイムスケジュール

時間	内容
10:00～10:10	<ul style="list-style-type: none"><li>・振り返り会議についての説明</li><li>・これまでの経緯について(館長)</li></ul>
10:10～10:30	<ul style="list-style-type: none"><li>・行ったイベントの振り返りについて(計3件)</li></ul>
10:30～11:20	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体協議<ul style="list-style-type: none"><li>・9月の振り返り会議で結論が出なかった議題について</li><li>・新規議題について</li></ul></li></ul>
11:20～11:50	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後の流れについて</li></ul>
11:50～12:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート記入</li></ul>

# 振り返り会議について

---

多摩市立図書館では、これまで企画募集したイベントを市民の皆さまと共に開催してきました。今まで行ってきたイベント企画募集から実施までの流れを振り返り、今後について市民の皆さまと共に考える会議を開催します。

イベント企画募集で応募された方、運営者の方はもちろん、企画のお手伝いがしたい方、図書館での企画に興味がある方などどなたでも参加できます。

図書館が事務局となり、市民の皆様と一緒に開催する会議です。



令和6年2月より実施したデザイン会議から始まり、企画募集・企画実施までの流れを市民と共に決定してきた。

**今までの流れを振り返り、今後の方針をみんなで決めていきたい！**

# 今日行いたいこと

---

- ①実施したイベントを振り返る
- ②イベント企画から実施までの流れについて協議する
- ③今後のイベント企画・実施の流れを決定する

中央図書館で「やりたい」をかなえよう！

# 図書館 デザイン会議



「図書館デザイン会議」は、あなたがやりたいことを実現(=デザイン)するためのワークショップです。

「Yahoo!知恵袋」の企画設計や、文化施設のプロデュースを行う講師と一緒にデザインしませんか。

第1回 2/23(金祝) 図書館の機能ってなんだろう？

第2回 3/2(土) みんなで考えよう、図書館でできること。

第3回 3/9(土) 実現に向けて計画しよう！



講師 岡本 真氏 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表)

2004年に「Yahoo!知恵袋」を立ち上げ初代プロジェクトリーダーを担当。  
退社後、アカデミック・リソース・ガイド株式会社を設立し代表取締役を務める。  
著書に『未来の図書館、はじめませんか？』(2014年・青弓社)など。

**時間** 各日 10:00~12:00

**場所** 各日 多摩市立中央図書館2階  
活動室1

**定員** 30名(申込先着順)  
多摩市内在住、在勤、在学者  
市内にU・Iターンを考えている方  
※小学4年生以下は保護者同伴

**参加方法**

インターネットまたは電話で申込みください。  
☎042-373-7955  
インターネット申込はこちらから ▶▶

要申込



**申込期間**

1/22(月)9:30-2/16(金)17:00

# 図書館デザイン会議 全三回まとめ

## 第一回(2月23日):図書館の機能ってなんだろう?

参加人数:46名

- ・多摩市立中央図書館における市民協働のありかたについて(図書館長)
- ・図書館の機能について(講師:岡本氏)
- ・図書館で、自分がしたいことを考えよう(参加型ワークショップ)

## 第二回(3月2日):みんなで考えよう、図書館でできること。

参加人数:37名

- ・第一回振り返り(図書館長)
- ・アンカンファレンスについての説明(講師:岡本氏)
- ・アンカンファレンス 全16回(参加型ワークショップ)
- ・全体での意見交換

## 第三回(3月9日):実現に向けて計画しよう!

参加人数:38名

- ・第一回、第二回振り返りと今後のスケジュールについて(図書館長)
- ・第二回アンカンファレンス議題再確認(講師:岡本氏)
- ・企画書を書いてみよう、他の人の企画をみてみよう(参加型ワークショップ)
- ・企画をつくるためのポイント(講師:岡本氏)
- ・全三回を通しての意見交換、感想

# 今後は、実施する企画について みんな決めていきたい！！

## ■7～12月に実施する企画について

### 実施時期と実施個数

実施時期	実施企画
7月	3つ(1周年イベント)
8月	3つ(1周年イベント)
9月	1つ
10月	1つ
11月	1つ
12月	1つ

### 実施できる場所(中央図書館)

- ・活動室1,2,3
- ・サテライトカウンター前
- ・ステッププラザ
- ・ラーニングコモンズ
- ・おはなしのへや
- ・ブックパーク
- ・・・ほか

# 企画の決定方法について

---

- ①1企画につき1分で、企画者が企画決定会議参加者に発表
  - ・企画者が企画決定会議に参加していない場合は、図書館が企画書を代読
- ②発表を聞き、質疑応答・相談
  - ・企画者同士で一緒に行う企画を決定したり、運営について質疑応答をする
  - ・複数開催、定期開催で提出している企画は、開催時期を決定
- ③中心となり運営できる企画に名前を記入する
  - ⇒企画者のほかに、運営中心メンバーを2名以上集めることができれば  
その企画は一次決定とする
- ④一次決定した企画の中から、時期を鑑みて企画を決定する
  - ・各月の中で複数一次決定した企画があれば、全員で多数決を行う。

# 実施決定したイベント一覧(計10件)

7月	体感！絵本の世界 『めずらしいお仕事』を想像して創造してみよう！	振り返り済
	夏休みの宿題の相談にのります	振り返り済
	ライブラリートーク 「未来ビジョン！市民のための図書館の未来を語ろう」	振り返り済
8月	学校図書館の支援を支える市民ワークショップ part1 学校図書館を知ろう	実施済
	本棚からの朗読 夏	振り返り済
	想いを言葉に。言葉で紡ぐ楽しさを知ろう	中止
9月	天文学者×フラダンサー（異業種のコラボ企画） 『大人の癒し～心が豊かになる休日～』今回のお題は『ハワイの月と星』	振り返り済
10月	多摩市の図書館をつくってきた人たちの紹介と現在の図書館の職員の紹介	実施済
11月	「本の世界からとびだそう」 (物語を読み解いて、言葉と体で伝えよう)	中止
12月	紙にこだわる！ 自分で書いて作った本を図書館に！！	実施済

# 行ったイベントの振り返り

## (9月振り返り会議で実施済のイベント5件)

イベント名	実施日時	参加者数／定員	アンケート結果
ひらめきと身体でつくる空想の世界	7月21日 11:00~13:00	6名(一般3名・子ども3名)／10名	満足度100% (取得1枚)
ライブラリートーク～未来ビジョン！市民のための図書館の未来を語ろう～	7月27日 13:00~15:00	来場者:30名(一般30名)／定員なし 発表者:9組(一般9組)／10組	満足度82% (取得18枚)
みんなで読もう！みんなで聞こう！夏	8月3日 14:00~15:30	来場者:13名(一般13名)／35名 発表者:2名(一般2名)／2名	満足度100% (取得9枚)
夏休みの宿題おたすけ隊	7月26日、8月21日 13:00~14:30	1名(子ども1名)／各8名	実施なし
天文学者×フラダンサー 心が豊かになる休日～ハワイの月と星～	9月15日 14:00~15:15	16名(一般16名)／18名	満足度88% (取得16枚)

# 行ったイベントの振り返り

---

- ①10月20日開催  
多摩市の若手図書館職員の話进行こう！！
  
- ②11月3日開催 ※8月30日開催予定イベント延期開催  
学校図書館への支援を考える市民ワークショップ～学校図書館を知ろう～
  
- ③12月15日開催  
多摩市立図書館製本体験～自分で書いて作った本を図書館に！！～

# 多摩市の若手図書館職員の話を知ろう！！

開催日時

令和6年10月20日(日)14:00～16:30

イベント概要

インタビュー形式で図書館職員が体験を語ります。図書館への思いをみんなで共有しませんか。

参加者数／定員

22名(子ども1名)／60名

アンケート結果

満足度100%(アンケート取得13枚)



# 学校図書館への支援を考える市民ワークショップ ～学校図書館を知ろう～

開催日時

令和6年11月3日(土)10:00～12:00

イベント概要

様々な情報をもとに「これからの学校図書館」についてグループで考えるワークショップです。

参加者数／定員

5名／20名

アンケート結果

満足度40%(アンケート取得5枚)



# 多摩市立図書館製本体験

## ～自分で書いて作った本を図書館に！！～

開催日時

令和6年12月15日(日)13:30～16:00

イベント概要

和綴じ(わとじ)で本を作ってみませんか？表紙や糸の色を考えながら、世界に一つだけの本を作ることができるワークショップです。

参加者数／定員

7名(一般6名・子ども1名)／10名

アンケート結果

満足度100%(アンケート取得10枚)※運営者回答3件を含む



# 令和6年度実施イベント(場所別)

場所	実施イベント例
ステッププラザ	展示・おはなし会
活動室	音楽ライブ・朗読会・体を動かすイベント・トークイベント・講座・工作
ラーニングコモンズ	討論型トークイベント・少人数でのグループワークイベント
サテライトカウンター	ビブリオバトル・おはなし会・工作
おはなしのへや	おはなし会
ブックパーク	おはなし会
分館	おはなし会・講座
その他	少人数での工作(こどもトイレ前机)

# 全体の流れ

## 図書館 デザイン会議

- 令和6年2月～3月実施
- 図書館が考える市民協働について共有。講師の岡本氏より、アイデアを実現していく方法について共有。

## 企画募集

- 令和6年3月14日～3月31日 募集期間
- 市内外問わず、計22件の募集あり。

## 企画決定 会議

- 令和6年4月13日実施
- 22件の企画のうち、10件の実施企画を市民の皆さまと決定。

## 企画実施

- 令和6年7月～12月 実施期間
- 現在実施期間終了。8件の企画を実施済。

## 振り返り 会議

- 令和6年9月29日実施。
- 全体の流れを振り返るとともに今後の流れを決定予定だったが、時間の都合上第二回に繰り越し。

# 話し合いの前提

---

- ・「してほしい」ではなく「しよう」で話し合いを進める
- ・一般図書館利用者の利用を妨げないような企画を実現する
- ・より多くの方、新しい方が参加しやすい方法を考える
- ・公共性がある企画を実現できるようなルールづくりとする
- ・「今後どうするか」の視点で話し合いを進める

# 前回の振り返り会議からの議題

No.	議題	振り返りシート No.
①	企画応募の件数について	1-1-1
②	イベントの定例化・連続講座について	1-1-3,1-2-1
③	団体で出された企画の決定方法について	2-1-1,2-1-5
④	企画の精度UP・イベント決定会議前の企画書事前確認について	2-2-1,2-2-6
⑤	イベントチラシの広報について	3-2-1
⑥	イベントの集客について	4-2-1
⑦	イベントの評価基準について	4-2-2
⑧	イベントを開催したい人向けの講座について	5-2-1

# ① 企画応募の件数について

## 第一回会議

議題	1人1件応募を改善してほしい。
図書館意見	多くの方に企画応募いただきたいため、現時点では1人1件応募を変更する予定なし。

## 第二回会議

### 会場案・決定事項を追加

図書館案	令和6年3月に募集したイベントでは、10件の開催イベントに対し22件の応募があった。今後、応募件数やイベント精度によって緩和する可能性はあるが、現在1人1件応募としている中でも2倍以上の応募があったことから、現時点では1人1件で進めたい。
会場案	<ul style="list-style-type: none"><li>・「図書館デザイン会議」という名前から、いくつでも実現できるという考えになっていた。「やりたいことが実現できる」と記載があるのだから、1件以上でも受付をしてほしい。</li><li>・1人1件にすることでクオリティUPにもつながると思うため賛成。企画段階で自ら精査する機会にもなる。</li><li>・1人1件には賛成だが、継続的に市民同士が話し合える場を作り、支え合いながら進めていく方が良いのではないか。</li><li>・自分が良い企画だと思って1件出しても、もう一つの案の方が良かったという場合もあると思う。2つ提案したうえで、決定会議で1つに決定するという案はどうか。</li></ul>

決定	現時点では1人1件応募とする。
----	-----------------

# ② イベントの定例化・連続講座について

## 第一回会議

議題	定例化するイベントや連続講座(季節ごとなど)の応募、決定方法の検討が必要。
図書館意見	定例化したいイベントについては都度応募してもらうというルールはどうか。

## 第二回会議

### 会場案・決定事項を追加

図書館案	市民協働事業を重ねていく中で、今後運用は検討していきたい。 イベント実施後、図書館側からお声がけして、市民協働事業とは別に図書館事業として定例化する場合もあるが、現時点では毎回応募するルールとしたい。
会場案	<ul style="list-style-type: none"><li>・最終的な件数上限を柔軟に検討できないか。(現時点の図書館案は年8件)</li><li>特に地域館で実施する場合など、企画によっては担当職員が違う場合もあるのではないか。</li><li>・イベント決定会議で次点になったイベントを繰り上げるということはあるか。</li></ul>
決定	定例化したいイベントについては都度応募が必要。

# ③ 団体で出された企画の決定方法について

## 第一回会議

### 議題を一部修正

議題	団体で出された企画の決定方法について検討が必要。 (団体の提出企画と個人の提出企画で、決定に差が無いよう検討が必要。また団体に所属している個人が運営者となった場合、実際には団体単位でしか運営に加われず支障が出るがあった。)
図書館意見	・団体で企画を出す場合は、団体以外の方が運営者となることはどうか。 ・団体として運営者枠に手を挙げる場合は、1団体で1名とカウントすることはどうか。

## 第二回会議

### 会場案・決定事項を追加

図書館案	第一回会議と同様。 ・団体で企画を出す場合は、団体以外の方が運営者となることはどうか。 ・団体として運営者枠に手を挙げる場合は、1団体で1名とカウントすることはどうか。
会場案	・団体で企画を出す場合には、団体以外の運営者を2名要することとする。 という案はどうか。 ・客観性を持たせるために、個人も団体も同様に1団体1名、1人1名と考えることでどうか。
決定	・団体で企画を出す場合は、団体以外の運営者を2名要することとする。 ※投影資料P9「イベント企画決定会議について」参照 ・客観性を持たせるために、団体も個人と同様に1団体1名と考える。

## ④企画の精度UP・イベント決定会議前の企画書事前確認について

### 第一回会議

#### 議題

- ・企画内容が定まっていないイベントがあった。
- ・イベント内容が決定会議参加者に伝わらないまま決定行為に進んでしまった。
- ・提出された企画書を事前に開示し、イベント決定会議までに確認できたほうが良い。

#### 会場意見

- ・決定会議参加者がイベント企画を理解したうえで決定できるよう検討したい。
- ・図書館内に掲示して、来館者が投票できる方式はどうか？

### 第二回会議

#### 会場案・決定事項を追加

#### 図書館案

- ・企画決定会議前に確認できる期間を約1か月取ることはどうか。  
企画書掲載場所：図書館公式ホームページ、中央図書館内  
※企画書が利用者へ公表されることになるため、この案でよければ募集要項へ掲載予定。

#### 会場案

- ・地域館でも掲示できる方が良い。(ファイル資料などでも可)
- ・企画書の精度(完成度・実現度)が高い企画を出すことが必要だと考える。  
企画書フォーマットの修正(企画書を見てどんなイベントか想像できるようなもの)、図書館側での一定の精査が必要なのではないか。

#### 決定

- ・企画決定会議前に確認できる期間を約1か月取る。  
企画書掲載場所：図書館公式ホームページ、図書館(全館)
- ・細かい内容を記載できるよう企画書フォーマットを見直す。

# ⑤ イベントチラシの広報について

## 第一回会議

議題	イベントチラシが目立ちづらく、利用者から気付かなかったという意見があった。
会場意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・館内にコーナーを設けてほしい。</li><li>・イベント実施者以外に市民協働宣伝チームのようなものがあるといい。</li></ul>

## 第二回会議

### 会場案・決定事項を追加

図書館案	<ul style="list-style-type: none"><li>・イベントチラシのフォーマットを作成し、わかりやすいチラシを作成できる仕組み作りを行う。</li><li>・図書館HP内「図書館コンテンツ」内にページを作り、広報強化を行う。</li><li>・中央図書館内に「市民協働コーナー」を設け、イベント運営者が展示できる場所を作る。</li><li>・今後はメルマガ配信などより一層広報に力を入れていく予定。</li></ul>
会場案	<ul style="list-style-type: none"><li>・調布市など近隣市では若者がクラブ活動のようにしてイベントを考えている事例がある。若者がイベント参加するきっかけになると思うので、今後「市民協働宣伝チーム」も検討してほしい。</li><li>・企画によっては広く広報しないほうが良いものもあると思う。</li><li>・市民協働事業ではないイベントについても、図書館側がより広く広報することが必要なのではないか。図書館主催企画等と区別せず、HP表記等も同様にした方が良い。</li></ul>
決定	<ul style="list-style-type: none"><li>・イベントチラシのフォーマットを作成し、わかりやすいチラシを作成できる仕組み作りを行う。</li><li>・図書館HP内にページを作り、広報を強化する。</li><li>・中央図書館内に「市民協働コーナー」を設け、イベント運営者が展示できる場所を作る。</li><li>・今後はメルマガ配信などより一層広報に力を入れていく。 ※広報の方法や内容は、企画者との相談による</li></ul>

# ⑥ イベントの集客について

## 第一回会議

議題	集客が難しいイベントがあった。
図書館意見	・主催者がやりたいことと、図書館の現状やニーズとのすり合わせを事前に行う。

## 第二回会議

### 会場案・決定事項を追加

図書館案	・第一回意見に加えて、議題⑤の広報強化を進めていく。 ・集客を大きな評価基準とするのではなく、市民のやりたいことを実現することに重点を置き、小さく始めて大きく育てることを意識する。
会場案	・図書館主催事業と、市民協働事業とでは図書館職員の熱量の差があるように感じる。 市民協働事業も同様に集客などを図書館側でも考えていただきたい。

決定	・第一回意見に加えて、議題⑤の広報強化を進めていく。 ・集客を大きな評価基準とするのではなく、市民のやりたいことを実現することに重点を置き、小さく始めて大きく育てることを意識する。
----	---

# ⑦ イベントの評価基準について

## 第一回会議

### 議題

集客だけがイベントの目標ではない。評価基準を設けたほうが良いと感じる。

### 図書館意見

非来館者がイベントをきっかけに来館し、次の利用に繋げることも目的としている。社会教育施設として、参加者がいないからやめるのではなく、自己実現としての場として続けていきたいと考えている。

## 第二回会議

### 会場案・決定事項を追加

### 図書館案

- ・第一回意見同様。
- ・評価基準は細かく決定しないが、議題⑥同様集客が全てではないことを図書館も意識して事業を続ける。

### 会場案

- ・来館者増だけでなく、図書館サービスとの親和性が感じられるものかどうかということも大事。評価軸について今後明文化の検討をお願いしたい。

### 決定

- ・評価基準は細かく決定しないが、議題⑥同様集客が全てではないことを図書館も意識して事業を続ける。(評価基準については今後明文化も要検討)

# ⑧ イベントを開催したい人向けの講座について

## 第一回会議

議題	継続的な養成講座が必要なのではないか。
図書館意見	回答なし

## 第二回会議

### 会場案・決定事項を追加

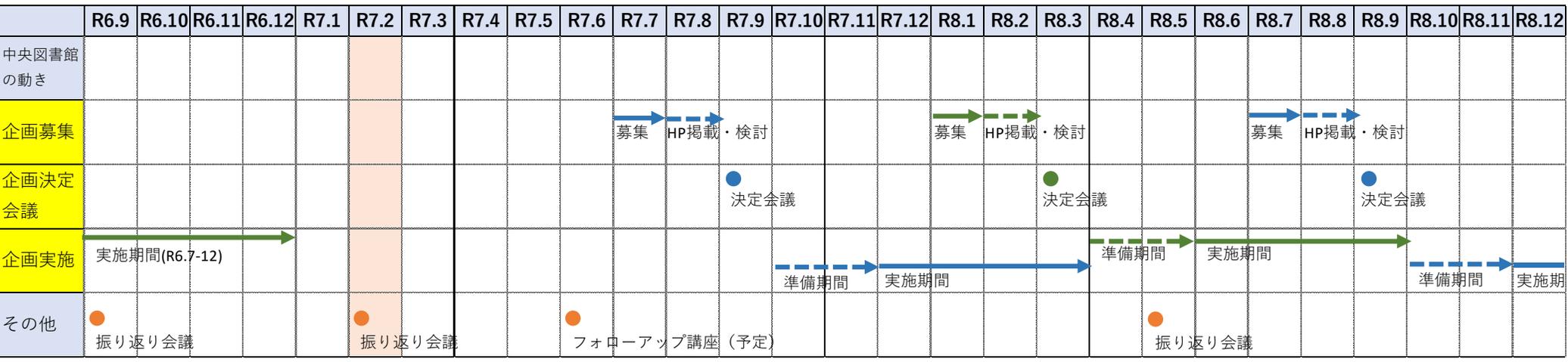
図書館案	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和7年6月に、岡本真氏によるフォローアップ講座を開催予定。</li><li>・今後はこういった会議の中でアンケートを取り、市民の皆さんがやりたい養成講座を実現していきたい。</li></ul>
会場案	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後の養成講座については、図書館や、多摩市に関わる方に講師になっていただきたい。</li><li>・講座受講者が、参加だけでなく今後につながるような仕組み作りも今後検討して欲しい。(パートナーや会議でのファシリテーターなど)</li><li>・市民が個人個人で頑張るのではなく、協力し合って進めていくような講座があればよい。</li><li>・図書館業務に関する協働事業も今後進めてほしい。</li></ul>
決定	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和7年6月、岡本真氏によるフォローアップ講座を開催予定。</li><li>・今後は会議内でアンケートを取り、市民の皆さんがやりたい養成講座を実現していきたい。</li></ul>

# 今後の流れについて

## ■ 今後も市民協働イベントを基本的には毎月1件開催したい。

- ・反省を踏まえ、イベント実施期間と準備期間が被らないよう調整。  
年8件のイベントを開催したい。
- ・企画募集後、約1か月の広報期間を設ける。  
HPや館内での企画書公開⇒決定会議までの確認期間。

## ■ 企画募集、企画決定会議の流れを半年に一度(9月・3月) 振り返り会議を年に一度開催したい。(5月) (※R7年度は2月に開催したため開催なし)



# おわりに

---

配布しているアンケートへ  
ご記入ご協力よろしく願いいたします。

- ・本日のご感想
- ・今後の市民協働事業へのご意見 など